

「癌」食べて治せ NO.12

緑黄色野菜のカロチン類が有効

徳田春邦
京都府立医科大講師

「癌」の予防は、第一に食生活、次いで「丹羽SOD様食品」

酸素は、私たちに必要不可欠なものです。しかし、酸素から過剰な活性酸素ができると、その酸化作用で細胞の膜や核を傷つけます。その結果、動脈硬化や糖尿病、癌など老年病を引き起こします。

癌を引き起こす主因といわれる活性酸素への対策は、先ず日常の食生活に注意することが先決です。本シリーズでは、食生活から見た「癌予防」のポイントについて掲載します。しかし、食事だけでは、癌を予防できないことも事実です。そこで、不足する活性酸素対策（癌予防対策）に、「丹羽SOD様食品」を摂取するののも一方策です。

日本SOD研究会がおとどけする
健康増進と病気・老化予防のQ&A

No. 24



Q：最近、過剰なカロチンによる弊害が話題になっていますが、カロチン類については、現在の世界の動向はどのような状況なのでしょうか？

A：緑黄色野菜をよく食べる人に癌が少ないことは、統計的にも明らかにされている。原因として、最も重視されてきたのがカロチンだ。

ところが、数年前、癌予防研究者たちをがっかりさせるようなデータが相次いで発表された。

カロチンは、昔から肺癌などの発生を抑えるといわれ、さまざまな動物実験でもその効果が確認されてきた。人間でも、癌患者ではカロチンが低下しているというデータもある。

そこで、中国やアメリカ、フィンランドなどで、大規模な癌予防試験

このQ&Aは、病気の90%に関係するといわれる活性酸素、活性酸素を除去する丹羽SOD様食品など、さまざまな症状や疾患について、最新の情報を掲載しています。定期的に発行されていますので、毎号お集めになりますと、健康管理ノートができます。このQ&Aは、最寄りの丹羽SOD様食品取扱店でお求めになれます。

が開始された。実際にカロチンを協力者に投与して、癌予防効果を確かめようというのである。研究者たちも大きな期待を持っていた。

ところが、中国ではカロチンが有効という結果が出たが、フィンランドやアメリカで行われた試験では、逆にカロチンを投与していた人で、肺癌の発生率が高まるという

目次

- 過剰なカロチンの弊害は？
- カロチン類の癌抑制作用は？
- カロチンの有効性は？
- カロチン類の種類は？
- カロチン類の癌抑制作用は？

SOD製剤による臨床報告
転移した卵巣癌が完治



予想外の結果になったのである。

中国では：3万人を対象に、5年3ヶ月間癌予防試験が行なわれ、そのうちカロチンを服用していた人では、明らかに癌死が減少していることが認められた。

フィンランドでは：喫煙者にカロチンとビタミンEを投与し、肺癌や心筋梗塞の発生率を比較。やはり3万人近い人を対象に、3年間薬として服用してもらい、その後5～8年にわたって追跡調査が行なわれた。この期間に約三千六百人が死亡したのだが、なんとカロチンを服用していた人の方が、肺癌や心筋梗塞による死亡者が多いという結果が出た。また、カロチン服用群の方が肺癌や前立腺癌になる人も多かった。

アメリカでは：フィンランドと同様

の結果が出て、実験はただちに中止。

日本では：その結果で、いくつかの施設で行われていた予防試験も中止された。

過剰な カロチン摂取が

逆に癌の原因である活性酸素に作用したのではないか、という意見もあります。

いずれにしても、良いといわれるものでも**大量摂取は危険である**ことを見せつけた。しかし、これでカロチン研究が頓挫したわけではないのだ。

Q：過剰な カロチンには弊害もある

そうですが、それでも、緑黄色野菜をよく食べる人に癌発症率が少ないという事実があります。他のカロチン類が癌抑制に有効なのでしょうか？

A：緑黄色野菜をよく食べる人に、癌が少ないことは統計でも明らかにされている。そこで、今度は別のカロチン類に注目が集まっている。

徳田講師によると「カロチンは赤

や黄色が多いのですが、色素のひとつです。人間でいえば、メラニン色素のようなもの。紫外線から植物を守る働きをしている「そうだ。

これまでに分かっているだけでも、その種類は600余り。この中に、

カロチンに匹敵、ある

いはそれ以上に強い癌抑制効果を持つものがあることが分かってきた。

「今、14種ぐらいで癌抑制の可能性が出ており、そのうち4、5種は動物実験に入っています。」そのひとつが、**ニンジンやカボチャなどに多く含まれる カロチンだ。**

Q：癌抑制に カロチンが有効だ

うですが、実験的にはどのような結果が得られていますか？

A：カロチンの場合は、体内で二つに分かれてビタミンAとして作用する。ビタミンAには、粘膜細胞の正常な増殖を促す働きがあり、これが癌予防にも働くと考えられてきた。

カロチンは、ビタミンAとしての働きは、カロチンの半分ほどなの

で、今まではほとんど注目されなかったところだ。ところが、実際にマウスで実験してみると、カロチンは、カロチンよりも強い癌抑制効果を持つことが分かった。

カロチンの癌抑制試験

肺癌の実験：マウスに発癌物質を与えた肺癌の実験では、カロチンを与えると発癌率は3分の2、できる腫瘍の数も3分の1ぐらいに減少していた。

肝癌の実験：カロチン群とカロチン群で発癌率の比較が行われた。その結果、カロチンではできる腫瘍の数がやや減少するものの、発癌率は全く低下しなかった。それに対して、カロチンを投与していたマウスでは、発癌率でも減少がみられたのである。

Q：緑黄色野菜には、

カロチンがあることは分かりましたが、他にどのようなカロチンがあるのですか

A：こうした結果からみて、「カロチンの癌抑制作用は、ビタミンAとしての働きばかりではないのではな



いか、と考えられています。いろいろなカロチン類を一緒に取ることで、効果が発揮されるのかもしれない。「と考えられるようになった。」

実際に、一種類のカロチンばかり取ると、ほかのカロチン類の吸収が阻害されるというデータもある。食べ物で多様なカロチン類を取るのが、今は最善の方法かもしれない。

これまでに分かっただけでも、次のようなカロチン類があり、癌予防候補がめじる押しにある。

ルテイン：ホウレンソウやプロックリー、キャベツなど野菜だけではなく、卵黄など動物性食品にも含まれるカロチンだ。これは、今のところ動物の皮膚癌や大腸癌で抑制効果が認められている。

フコキサンチン：マウスの皮膚癌や十二指腸癌で、発癌抑制作用が認められている。これは、ヒジキや

ワカメなど海藻に含まれるカロチンで、含有量が多いことも強みになっている。

リコピン：赤い色素で真っ赤なトマトに多く、大腸癌や前立腺癌で効果が認められている。徳田講師によると、「リコピンは、アメリカ産のトマトに多く、どうも日本のトマトは少ない傾向がある。」という。これも栽培方法や土壌の違いなのかもしれない。

クリプトキサンチン：ミカンに多く、肝臓癌で予防研究が進められている。

カプサンチン：最近、徳田講師が研究しているカロチン類で、ピーマンに含まれ、発癌抑制効果が発見されている。「50種類ぐらいのピーマンで実験をしています、その中には高い発癌抑制効果を示すものもある。」そうだ。

Q：緑黄色野菜のカロチン類が、発癌を抑制する機序について説明してください。

A：こうしたカロチン類が、どのように発癌を抑制するのは、まだよく分かっていない。しかし、ビタミンAに変化するカロチンばかりではないので、カロチンそのものとして直接癌を抑制する働きがあるのだろうとみられている。

カロチンの効果：酸化を抑える働きである。カロチン類は、フリーラジカルなど癌をつくる不安定な酸素を消し去る働きをしている。

カロチンの効果：癌化を促進する物質（発癌プロモーター）が起す変化を抑えることも分かった。

カロチンの効果：カロチン類には癌に対抗する免疫を増強する働きがあることも、数多くの実験で報告されている。

本文は、「癌」食べて治せ（日刊スポーツ・No.42・44）から、抜粋・引用しました。

バックナンバーについて
日本SOD研究会では、これまで発行した「Q&A」のバックナンバーを用意しています。様々な疾患と活性酸素の関係について掲載しています。

ご希望の方は、最寄りの取扱店または、日本SOD研究会までご連絡ください。



命と健康のために SODロイヤル

SODロイヤル(丹羽SOD様食品)は、丹羽博士が長年をかけて開発した、天然の植物・種子を素材にした天然製剤で、副作用などの心配は皆無の健康食品です。

国際製法特許取得

SOD製剤による臨床報告

本症例はすべて、丹羽博士が院長を務める土佐清水病院での、末期癌を含めた重症の癌患者の症例です。博士が長年かけて研究開発した**天然SOD製剤BG104**および**天然低分子抗酸化剤(SOD様作用食品)**を治療の主体とした症例を掲載しています。小誌の掲載内容は、丹羽博士の著書「天然SOD製剤がガン治療に革命を起こす」から、抜粋・引用しました。治療の詳細を知りたい方は同書を参考にしてください。

転移した卵巣癌がほぼ完治。

一命を取り留める

H・H 51歳 女性 再燃卵巣癌

【現症ならびに来院時所見】

平成二年一月下腹部の腫脹に気づき、某病院で卵巣癌の診断を受け、直ちに開腹手術を行ったが、子宮に転移していて、卵巣、子宮共に切除した。そして抗癌剤の点滴、内服を受けて、本院に来院。

来院時、貧血強く、衰弱も見られ、本人には、卵巣癌には丹羽療法はあまり効果がないことを説明し、BG104と低分子抗酸化剤(SOD様作用食品)を所定の量(省略)投与した。以後本人

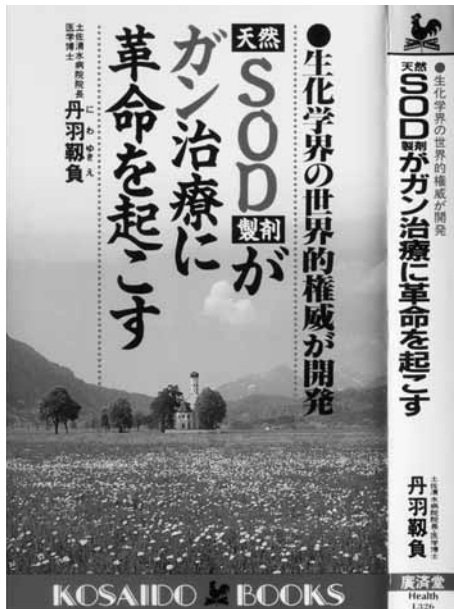
はBG104と低分子抗酸化剤の治療にすべてを賭けた。

【臨床経過】

丹羽療法の治療を受けて、徐々に食欲、体力とも回復し、顔色も良好となり、メーカーも上昇せず、卵巣癌再燃の兆しもなく、二年半でBG104の内服を中止し、その後三年以上を経過するも、現在ほぼ完治状態である。

【考察と結論】

前述の通り、卵巣癌は概ね現在の西洋医学では四〜五年は延命するが、五年以上延命した患者は極めて少ない。本症例は、卵巣以外、子宮にも転移していて、抗癌剤に抵抗した最悪のケースであったが、一命を取り留め、BG104の著効した症例といえる。



SOD-IST (ソディスト) は丹羽療法における疾病治療・予防を目的とした患者さんや愛用者の方々の体験から生まれました。まさに治療が偶然見つけた素肌への贈り物です。SOD様ナチュラルフーズ・SOD様ナチュラルクリーム・天然の低刺激粹練石鹸の組合せにより“体の内部・外部から美を養う”をコンセプトに誕生したのが丹羽SOD美容法[SOD-IST]です。



[当商品には合成着色料・合成保存料は使用していません]

お問い合わせ先

製造・発売元
株式会社フジ流通システム
埼玉県富士見市鶴馬3489-1